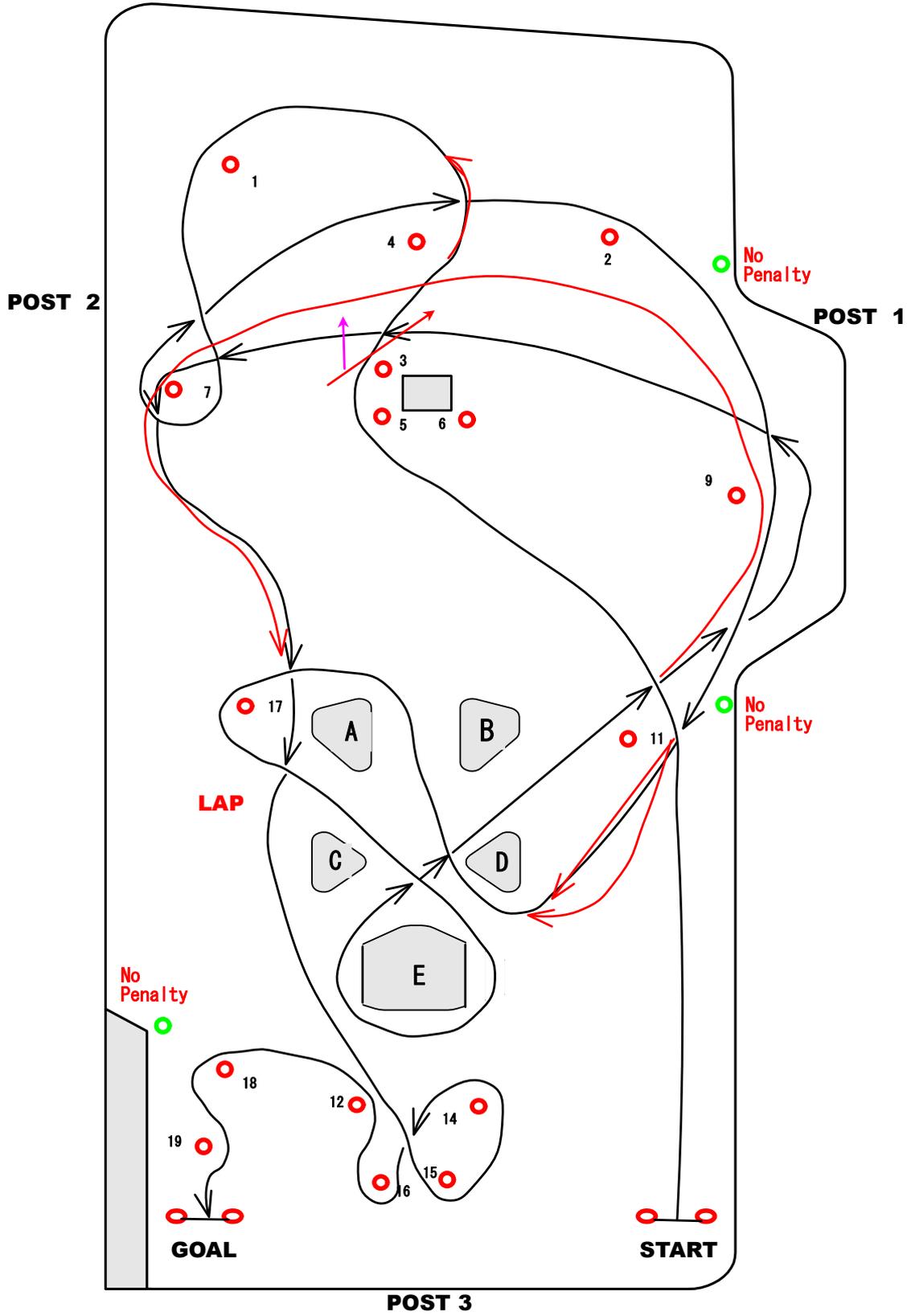


2021. 04.04



## コース作成の意図

このコースのスタートラインに車を並べた時には、4番の横を通るときに必ずアクセルに足が載っているように組み立て、逆算して3番パイロンの横を通るときに2番パイロンにノーズを向けるつもりでラインを考えてブレーキングし、気負って紫の線のように車が流れていかないように考えアクセルを踏んで、7番に向かう。7番パイロンのターンの後が長いことに注意する。

11番パイロンの横を通過するときには、Dでサイドを引くのか出来れば2速で行こうとするかでラインを考える。本番2本目は、恐らくサイドは引かずにRを大きめに取りグリップで行くことになると思いますが、1本目は、自分のリズムとタイムを残すために真っすぐ入ってサイドを引くと思います。4駆は、全部、角々サイドでしょうけれど、17番の立ち上がりを考慮して島Dのアプローチを決める。

島Eを立ち上がるとまた先が長いのですが、ここでは、赤線ラインで行くか黒線で行くか、7番パイロンで詰まらないラインを自分の車と相談して決め、最終セクションは勢いで突っ込み勝ちになりそうなところを抑え、ブレーキングポイントを先に決めて走り、サイドの精度を落とさないように注意する。

このコース攻略法は、コース作成者が意図している内容であり必ずしも正解とは限りません。故にコース作成者自身がデモランして出来るかどうかは関係ありません。1速か2速か、サイドを引くか引かないか、最短距離かコーナリング速度重視か迷うようにパイロンを置いている可能性が高いので、それを考慮して走り、尚且つ、他の選手の走りを見て自分で選択してタイムアタックする、考えて走るというのが常に正解です？